



屋島支部ニュース

今年の夏は、コロナ禍も加わって、本当に厳しい暑さでした。お盆を過ぎたので少し凌ぎ易くなってね、という願いも空しいものでした。いかがお過ごしでしょうか。お伺い申し上げます。

屋島支部の担当 石井琢男理事 をご紹介いたします。

6月25日に開催された香川医療生協第41期通常総代会で、理事に選任されました。生協運動の原点である “一人は万人のために、万人は一人のために” を実践していきたいです。東フロック地域の組合員さんの声や「こまった」を理事会に反映できるように努力いたします。東フロックの他2人の理事とスクラムを組み、地域に「いのちの章典」の花の種をまく決意です。

理事となつてのスタートは「こどものインフルエンザワクチン無料化」運動を成功させることです。この運動の出発は、牟礼支部からだされた要望の一つですが、香川医療生協全体で取り組むべき課題として理事会に提案し、了承されました。具体的な行動・計画は9月より実施する予定です。屋島支部の組合員の皆さんに、是非この運動が成功するように、ご協力をお願いいたします。（「みんなの健康」に顔写真掲載）

高松市戦災原爆写真展に行ってきましたー！！

しらさぎ班で8月8日に瓦町FLAG8階市民交流プラザまで出かけてきました。コロナ感染対策の三密に気を付けて、参加者の感想を出し合いました。

- *若い人たちにこそみてほしい、戦争、原爆の悲惨さを考えてほしい。
- *戦争の悲惨さを、知って伝えて行く事が、平和を守るために、大切な事だと思った。
- *平和は声を出してみんなで守り、努力しないと、維持できない。
- *パネル、DVDを見ながら涙が出てきます。この人達の苦しさを忘れてはならない。



原水爆禁止2020世界大会広島デーを視聴して

東7ブロックの平和社保委員会のメンバーの戸島敏子さんから感想が届きました。紹介します。

今年の大会はコロナ禍の3密回避のためライブ配信となり、オンラインで視聴しました。「核兵器のない平和な世界を」を共同のテーマに国内外から幅広い代表者の熱い連帯の訴えがあり共感しました。国連で2017年に核兵器禁止条約が採択されたことが、世界から核兵器を廃絶する大きな歩みになっていると、この大会を通して感じました。条約の有効まであと7ヶ国の批准に向け、唯一の被爆国日本の参加が求められます。

すべての生命を脅かす核兵器や気候変動に対して、差別・エゴ・分断を乗り越え連帯して、向き合い続ける大切さを学びました。核の問題は被爆者だけのことではないはずです。

広島・長崎の被曝遺構や資料、何よりも被爆者の声を聴き、核の問題に真摯に向き合い、風化させないことも各世代の役割であると痛感しました。

広島市長の平和宣言で「核兵器のない世界こそが恒久平和の第一歩である」の言葉が、印象に残りました。核が世界からなくなるまで声をあげ続けましょう！！



★コロナ禍に伴い、行事・取り組みが中止となっています。

- * 高松協同病院の健康まつり
- * 屋島支部主催の「お月見会」
- * 屋島支部主催の健康チェック&ふれあいサロン
- * パワーシティ屋島での健康チェック

2020年度の取り組みは中止となりました。

開催できるようになりましたら、支部ニュースでご案内します。

特定健診を高松協同病院で受けましょう

* **予約制です。** 定期の受診時に予約するか、電話（087-833-2330）で予約をお願いします。

* 最終受診日は、12月25日（金）です。尚、大腸がん検診、前立腺がん検診は、10月31日（土）までとなっております。

* 高松平和病院でも受診できます。最終受診日は、10月31日（土）です。

◎高松市から郵送されている特定健康審査または後期高齢者医療健康審査の受診票をもって行きましょう。健康保険証もお持ちください。

※医療生協では、毎年受診されると、最大5年の結果がわかる資料を準備してもらえます。